

岩崎純一歌集	『新純星余情和歌集』 及びその全解釈
歌集名読み	しんじゆんせいよせいわかしふ
和歌詠者	岩崎純一
現時点の最古の和歌の記録日	1996/11/2
編集開始年月日	2011/1/6
更新年月日	2013/2/5
現在の掲載歌数	1278首
岩崎のサイト内の和歌のページは右をクリック	『新純星余情和歌集』全解釈 http://iwasakijunichi.net/waka/
序文	現代標準語序 (PDF) 真名序 (2020年頃制作予定) 仮名序 (2020年頃制作予定) 訓民正音序 (2020年頃制作予定。この序を設ける理由は、詠者の2013/1/5のブログを参照。)
歌道論	歌道論(一)『新純星余情和歌十箇条 — 和歌とは何か —』(PDF) 歌道論(二)『新純星余情和歌伝』(2020年頃制作予定)
歌会・歌合・連題の部	1996年の部 (13歳～14歳) 1首 1997年の部 (14歳～15歳) 1首 1998年の部 (15歳～16歳) 4首 1999年の部 (16歳～17歳) 6首 2000年の部 (17歳～18歳) 3首 2001年の部 (18歳～19歳) 2首 2002年の部 (19歳～20歳) 4首 2003年の部 (20歳～21歳) 4首 2004年の部 (21歳～22歳) 4首 2005年の部 (22歳～23歳) 7首 2006年の部 (23歳～24歳) 110首 2007年の部 (24歳～25歳) 19首 2008年の部 (25歳～26歳) 201首 2009年の部 (26歳～27歳) 26首 2010年の部 (27歳～28歳) 53首 2011年の部 (28歳～29歳) 313首 2012年の部 (29歳～30歳) 61首 2013年の部 (30歳～31歳) 100首
単独詠の部	春の部 (全年齢) 52首 夏の部 (全年齢) 29首 秋の部 (全年齢) 23首 冬の部 (全年齢) 22首 恋の部 (全年齢) 178首 雑の部 (全年齢) 33首 羈旅の部 (全年齢) 7首 釈教の部 (全年齢) 6首 神祇の部 (全年齢) 9首
重要語総覧	重要語総覧
歌集概要	◆『新純星余情和歌集』とは、和歌愛好家である私、岩崎純一が過去に詠じた和歌を私的に収集したものである。 ◆『新純星余情和歌集』全解釈とは、本歌集の歌の全解説の試みである。
全解釈概要	◆『新純星余情和歌集』の名は、雅号の一つが「純星」であること、及び、中学・高校時代の日記が『余情の砂』(よせいのいさご)であったことによる。 ◆歌会・歌合(メール歌会・メール歌合を含む)に詠進された歌は、優先的に選び、なるべく全歌を掲載した。いずれの歌会・歌合にも属しない単独歌は、勅撰和歌集にならない、「春」「夏」「秋」「冬」「恋」「雑」「羈旅」「釈教」「神祇」として末尾に置いた。 ◆赤字の歌会は、日本史上の既存歌会の歌題に従って催された歌会を示す。 ◆特に20歳以前の歌など、詠進日が不明であるために筆録日または自撰日で整理した歌がある。 ◆歌会主催者名など、敬称を省略させていただいた箇所がある。
通釈	◆以下の方々のご協力により、歌の通釈をなるべく忠実に現代日本語でおこなっている。 ◆掛詞や縁語など、難解な修辭法が用いられた歌の場合、掛けられた言葉、結ばれた言葉を、なるべく翻訳に出現させるような訳し方をした。 園井長光様、長満たき様、戸井留子様、武田あさる様、蝶子様、沙月式部様、イ・ギユリ様、岩崎純一
語釈	◆以下の方々のご協力により、歌に用いられた技巧や歌の元になった古典などを解説。 ◆頻出する修辭法は、以下の通りである。 掛詞、縁語、枕詞、序詞、歌枕、本歌取、頭韻 ◆「参照」には、本歌取とまでは言えないが該当歌の理解の上で役立つ歌や、該当歌の元となった物語や漢詩を挙げた。 ◆「慣例」には、慣用句、常套句などを挙げた。 ◆その他、各歌に応じて用語の解説をおこなった。 園井長光様、長満たき様、戸井留子様、武田あさる様、沙月式部様、雪実少納言様、岩崎純一

評	◆他の歌人様、和歌愛好家様による歌評を掲載。(本文中敬称略) ◆和歌の評は、元より主観が入るものだが、今後の私自身の和歌研鑽や、学童・学生の方々への古典紹介の意義などのため、比較的客観的な評価と考え得るものはなるべく優先的に掲載し、賛否両論ある場合もその両方を掲載した。
派生歌など	◆他の歌人様、和歌愛好家様より頂いた贈歌・返歌・唱和歌・改作歌、公開可能な他の歌人様の歌などを掲 園井長光様、水垣久様、長満たき様、戸井留子様、武田あさゑ様、楽々様
典拠一覧	◆歌の解説のために直接に参照・引用したインターネット上の和歌・古典文献のうち、主なものを示す。
古典籍総合データベース	http://www.wul.waseda.ac.jp/kotenseki/index.html
和歌データベース	http://www.nichibun.ac.jp/graphicversion/dbase/waka.html
連歌データベース	http://www.nichibun.ac.jp/graphicversion/dbase/renga.html
俳諧データベース	http://www.nichibun.ac.jp/graphicversion/dbase/haikai.html
藤原定家の著作と平安朝古典籍の書写校勘に関する総合データベース	http://www.takachiho.ac.jp/~eshibuva/kenkyukai.html
源氏物語の世界	http://www.sainet.or.jp/~eshibuva/
水垣久様のサイト (歌評が掲載されています。)	http://www.asahi-net.or.jp/~sg2h-vmst/yamatouta/
協力者様	
余情会 (数名の歌人様が通釈・語釈にご協力下さいました。)	http://iwasakiunichi.net/yoseikai/
うたのわ (数名の歌人様が通釈・語釈にご協力下さいました。)	http://utanowa.net/
主な参照辞典類	岩崎純一自身の担当
	『新編国歌大観』(角川書店)
	『校註国歌大系』(国民図書)
	『新編日本古典文学全集』(小学館)
	『女人和歌大系』長澤美津編(風間書房)
	『字訓』白川静(平凡社)
	『字通』白川静(平凡社)
	『字統』白川静(平凡社)
	『萬葉集総索引』正宗敦夫(平凡社)
	『日本語大シソーラス』(大修館書店)
	『定家明月記私抄』堀田善衛(新潮社)
	『覆刻日本古典全集』(現代思潮新社)
	ご協力者が参照して下さいました文献
	『増補 雅言集覧』(臨川書店)
	『増補 俚言集覧』(臨川書店)
	『完訳日本の古典』(小学館)
	『日本歌語事典』(大修館書店)
	『和歌文学大辞典』(明治書院)
	『日本古典文学大事典』(岩波書店)
	『日本近代文学大事典』(講談社)
『類語大辞典』(講談社)	
『語源辞典』(東京堂出版)	
『隠語辞典』(東京堂出版)	
『全釈漢文大系』(集英社)	
『新釈漢文大系』(明治書院)	
岩崎純一 (伝統和歌人としてのプロフィール)	◆昭和57(1982)年生まれ。中学時代より伝統和歌と近現代短歌に関心を持つ。20歳頃より伝統和歌に集中して詠草。万葉・勅撰・私撰集や漢詩を自学。藤原俊成・良経・家隆・定家・為兼、源俊頼、正徹、後水尾院、香川景樹らに私淑。万葉調・古今調を経て新古今調に至る。ネット開始を機に歌人仲間との交流を得る。古代・中世の歌壇・歌合・和歌所再現の実験的試みである「余情会」の開闢。
備考	◆私は、いわゆる短歌結社や俳句結社には所属しておらず、従って、どの特定の系統・系譜・師匠にも基盤を置いておらず、そちらの方面での詠歌活動はなく(歌人様との交流は除く)、和歌は完全独学と言えます。一方、和歌以外の日本の古典文学愛好家、大学の古典文学・日本語学・言語学のフィールドのほうに多く関わりがあります。活動としては、普段の日常生活の自作純文学としての詠歌のほか、神社巫女歌会や伝統神事・イベント事への和歌提供などをおこなっております。 (岩崎純一)